

日時:令和3年12月14日 9:30~16:00

12月15日 9:50~16:10

実施方法:オンライン (Zoom)

講師:清原浩氏(鹿児島メンタルサポート研究所所長・鹿児島大学名誉教授)

目的:施設利用者をはじめ、在宅の高齢者・障害者などの心理的な諸問題の解決に向けて必要なカウンセリングの基礎知識と基本的技術等を修得することを目的とする

○ケアの中にみられる人間関係

・人間関係の3パターン

- 1) 職員主導型
- 2) 利用者主導型
- 3) 相互型

○関係の中で「悩んでいる人」

・受容・非受容  
・問題所有の原則

○私メッセージ～職員が非受容なとき

・職員が非受容なときの一般的な言い方(あなたメッセージ)

あなたメッセージとは「あなた」を主語にした言い方。

①命令②脅迫③お説教④提案⑤批難⑥皮肉など相手を批難・批判するときに使われる  
が言う人の本当の気持ちは隠されている

・私メッセージとは「私は・・・」を主語にした言い方

①誰でも認める事実②私への具体的で、直接的な影響③私の感情

○問題解決の6段階～職員が非受容なとき

前段階 話合いの日時、話合いの方法など、相手に了解を得る

第1段階 問題の明確化、欲求の明確化(もっとも大事)

第2段階 考えられる解決策を沢山、出す(ブレインストーミングの方法で)

第3段階 出てきた案を一つ一つ検討する(吟味)

第4段階 双方が納得できる案を選ぶ(決定)

第5段階 いつから、どのように始めるか決める(実施方法)

第6段階 しばらくやって、できばえを評価する(評価)

○価値観と価値観を明確化する意義

・価値観とは

①自分に影響が少ないか、全くないが、「いやだ」と思うもの・・・相手の癖

②それぞれが大切にしている、信じている、好みなど・・・趣味、信条、人生観

③人の話を聴いていると、是非の気持ちが浮かんできます。それが価値観

・価値観を明確化する意義

①行動選択の基準が明確になる

②選択したものに満足しやすい

③ストレスが少ない

④自己肯定しやすい、操作されている感じがしない

・価値観の対立を解く

1) 自分が模範になる

2) 気持ちはしっかり伝える

3) 自分の価値観を再点検してみる

○環境改善という視点も取り入れる

①環境につけ加える

②取り除く

③移動する

④計画する

⑤政策変更を迫る